

エンドユーザー様用

オムロン 自立運転使用方法



KPW-A KPM-Aシリーズ 共通

型番 KPW-A48-J4/ KPW-A55-J4/ KPW-A55-SJ4

マニュアル品番 2872597-8A_取扱説明書_KPW-A P11-P14抜粋

型番 KPM-A48-J4/KPM-A55-J4

マニュアル品番 2839403-3_A_取扱説明書_KPM-A-J4 P11-P14抜粋

型番 KP44M2-J4/KP55M2-J4

マニュアル品番 9609688-1B_取扱説明書_KP□M2/KP□M2-J4 P11-P13 抜粋

※ご不明な点は、オムロンフリーダイヤル

0120-366-053（お客様用）

0120-066-825（施工店様用）

までお問い合わせください。

KPM-Aシリーズ KPW-Aシリーズ

連系運転と自立運転について（つづき）

運転を停止する

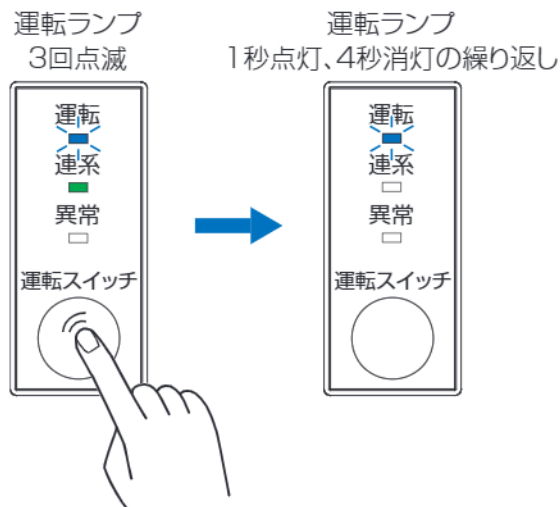
運転を停止する場合は、下記にしたがって操作してください。

1 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- パワーコンディショナが運転を停止します。

2 運転ランプが1秒点灯、4秒消灯を繰り返していることを確認する

- 運転を停止すると、パワーコンディショナは停止状態を保つため、自動的に起動しません。



停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止したとき、システムを自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

停電時に、異常ランプが5秒間に2回点滅を繰り返している場合

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」になっています。
自立運転で使用する場合は、下記の手順1～4を行ってください。



停電時に、運転ランプが点灯している場合

- 「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」になっています。
- 自動的に自立運転に切り替わっています。
 - 自立運転時の発電電力は併設している蓄電システムに送られます。
 - 停電用コンセントは設置されていません。



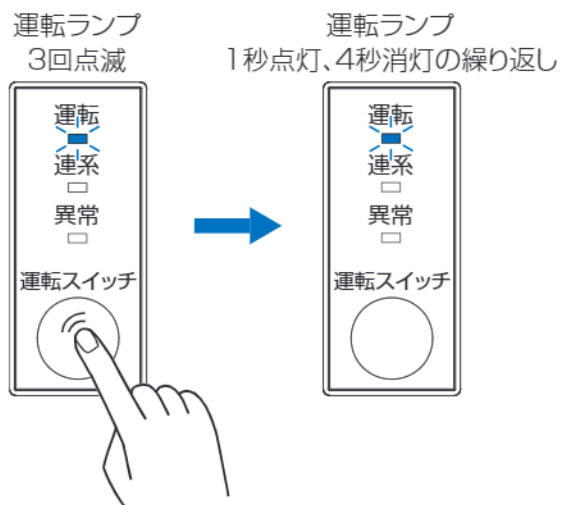
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

1 太陽光発電用ブレーカ（⇒6）を「オフ」にする



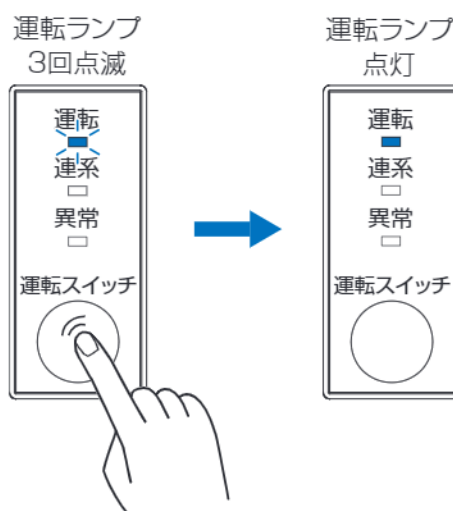
2 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが 1 秒点灯、4 秒消灯を繰り返します。



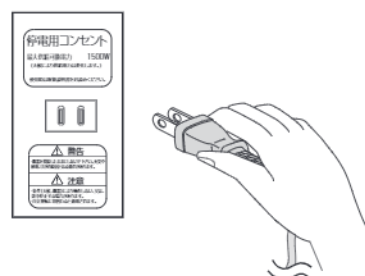
3 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチッカチッカと動作音がします。
- 自立運転を開始すると、運転ランプが点灯します。



4 停電用コンセントに使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇒ 4）
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。



- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを 5 秒以上押し続けて、運転スイッチを「オフ」状態にしてください。（⇒ 8）再度、運転スイッチを 5 秒以上押し続けると、運転スイッチが「オン」状態になり、自立運転を再開します。

自立運転が停止したら

◆ 発電電力の低下や日の入りによって自立運転が停止した場合

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」(⇒ 11) になっている場合

太陽電池が発電を開始してから、下記手順を行って自立運転を再開させてください。
(異常ランプが5秒間に2回点滅を繰り返していたら、太陽電池は発電を開始しています)

- ① 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- ② 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」(⇒ 11) になっている場合

太陽電池が発電を開始すると、自動的に自立運転が再開されます。

◆ 保護機能が働いて自立運転が停止した場合

掃除機や冷蔵庫などの電流が急激に流れる機器を使用したり、故障した機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。

保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

- ① 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- ② 停電用コンセントに接続している機器を減らす、または故障した機器を停電用コンセントから外す
- ③ 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

-
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

復電時の操作（連系運転への切り替え）

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」(⇒ 11) になっている場合

復電後は、手動で連系運転に切り替える必要があります。下記の手順 1～4 を行ってください。

- 夜間に復電した場合は、手順2のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」(⇒ 11) になっている場合

復電後は、最大 5 分程度で自動的に連系運転に切り替わります。下記の手順 4 のみ行ってください。

- 下記の手順 4 で運転ランプと連系ランプが点灯せず、異常ランプがゆっくり点滅（2秒点灯、2秒消灯）を繰り返している場合は、下記手順①、②を行って連系運転を開始してください。

① 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける (⇒ 8)

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。

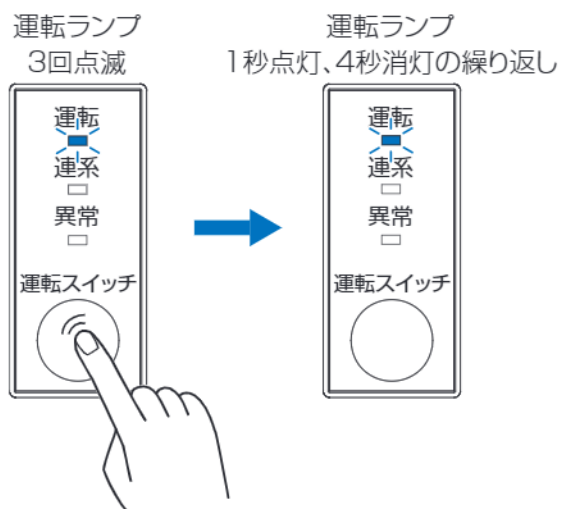
② 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける (⇒ 8)

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

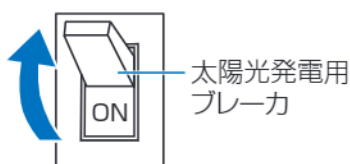
使い方

1 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが 1 秒点灯、4 秒消灯を繰り返します。
- 自立運転が停止します。

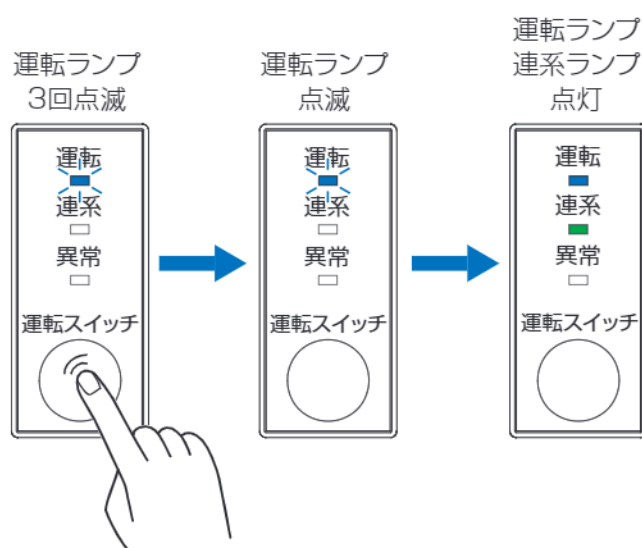


2 太陽光発電用ブレーカ (⇒ 6) を「オン」にする



3 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 連系運転を開始するまで、運転ランプが点滅します。



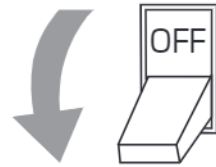
4 運転ランプと連系ランプが点灯し、連系運転が開始していることを確認する

停電時の使い方（自立運転）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、表示部に“E1-G”が表示されます。“E1-G”表示時に、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

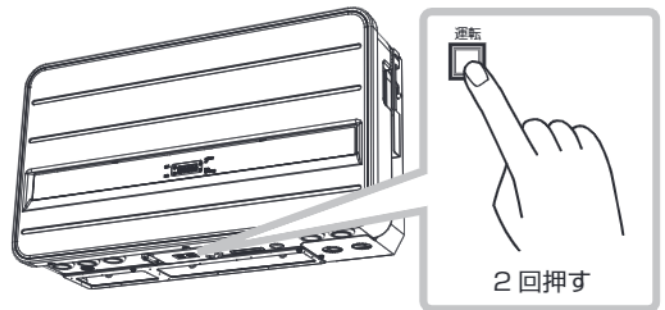
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

1 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする



2 スイッチカバーを開け、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする

- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。



使い方

3 自立ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

- 表示部には停電用コンセントに接続した機器の合計消費電力が表示されます。（何も接続していない場合は、“0.00”が表示されます）

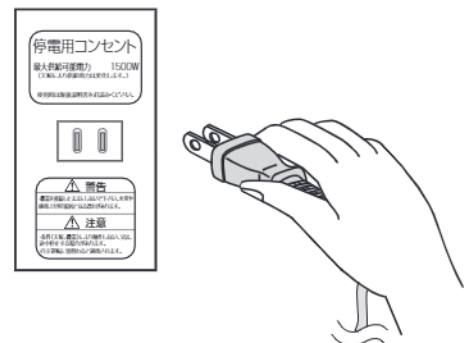


発電電力
kW

kW-h
積算電力量

4 停電用コンセントに、使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇒ 4）
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下（AC 100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。



停電時の使い方（自立運転）（つづき）

■ 自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、太陽電池が発電を開始してから、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にしてください。

- 表示部に“E1-G”が表示されていたら、太陽電池は発電を開始しています。
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

お知らせ

- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。

保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

- 1 運転スイッチを「オフ」にする
- 2 停電用コンセントに接続している機器を減らす
- 3 運転スイッチを再度「オン」にする

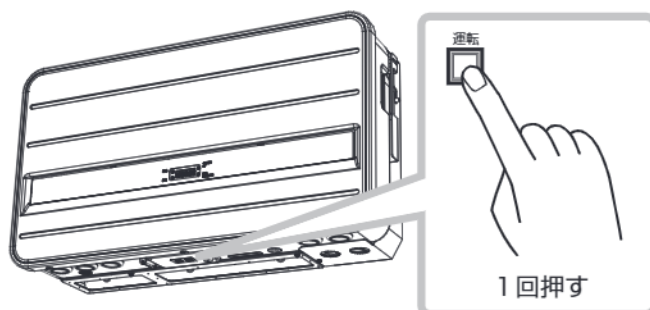
復電時の操作（自立運転から連系運転への切り替え）

停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。

- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順2のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。

1 スイッチカバーを開け、運転スイッチを「オフ」にする

- 表示部に“E1-G”が表示されます。
- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。



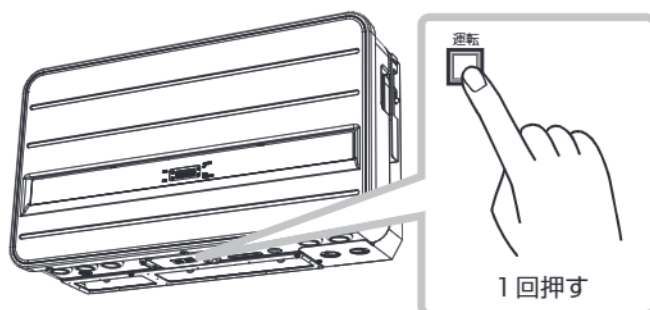
2 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする

- 表示部にカウントダウンが表示、または“HLd”が点滅します。



3 スイッチカバーを開け、運転スイッチを「オン」にする

- カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。
- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。



4 連系ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

- 表示部の中央に“.”（ドット）が点灯した後に、現在の発電電力が表示されます。

